

学 校 長

長く楽しかった夏休みが明け、校舎に子どもたちの元気な声と、笑顔が戻ってまいりました。日焼けした健康的な表情や、ひとまわり大きく頼もしくなった姿から、ご家庭や地域で充実した時間を過ごしたことが伝わってまいります。事故なく安全に過ごせたこと、皆様の見守りに深くお礼申し上げます。

さて、いよいよ2学期が始まりました。2学期は、運動会や音楽会、校外学習など、友達と協力して取り組む大きな行事が盛りだくさんの季節です。年間の中で最も長く、日々の学習や体験を通して子どもたちが最も成長する学期でもあります。始業式では「小さなできた」をたくさん見つけようという話をしました。そして、自分のできただけでなく、友達の「小さなできた」も見つけようと話しました。



教室でのリモート登校日の様子(8月3日(月))

最初から大きな成果を見つけるのではなく、目の前の課題に粘り強く取り組み、「できた」という体験を重ねることは、次の挑戦へと向かう確かな自信と自己肯定感を育みます。時には思い通りにいかず、悩んだり、壁にぶつかったすることもあると思います。そうした時こそ、ご家庭と学校が連携し、小さな頑張りを逃さず認め、励ましていくことが大切です。

今学期も、教職員一丸となり、子どもたちが健やかに生活できるよう努めてまいります。引き続き、ご支援・ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

始業式では学校や地域の夏休みの様子も話しました。

【学校では】

- サマフェス
- 個人懇談会
- 教職員の勉強会
- 教室の床修理



校務員の岡田先生が夏休みに、教室の傷んだ床の修理をしてくださいました。

○お花の水やり

お花を枯らさないために教職員で手分けして毎日朝夕の水やりをしました。



【地域では】

○団七踊りのお祭り

西熊野神社で開催されました。「岡崎団七踊り」は和歌山県無



形民俗文化財に指定され、岡崎団七踊保存会の皆さんが「岡崎団七踊り」を継承してくださっています。

(団七おどりの由来)

団七踊りは紀州藩主が江戸へ参勤交代のおり、随行して江戸に下った岡崎の郷土たちが江戸で見聞きた歌舞伎または浄瑠璃「碁太平記白石噺」に感動し、これを唄や踊りに変えて郷里の人々に伝えたのが始まりとされています。